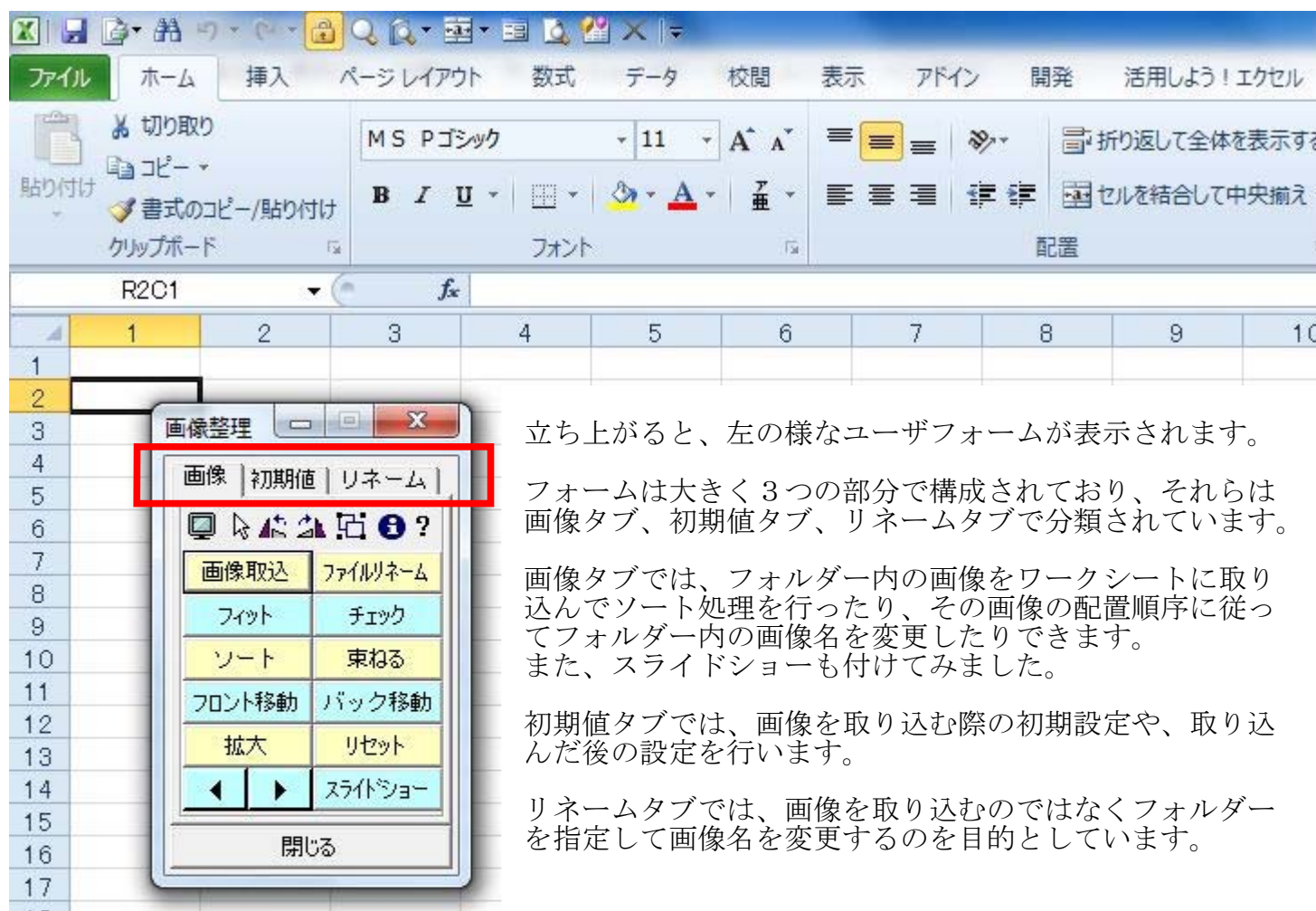
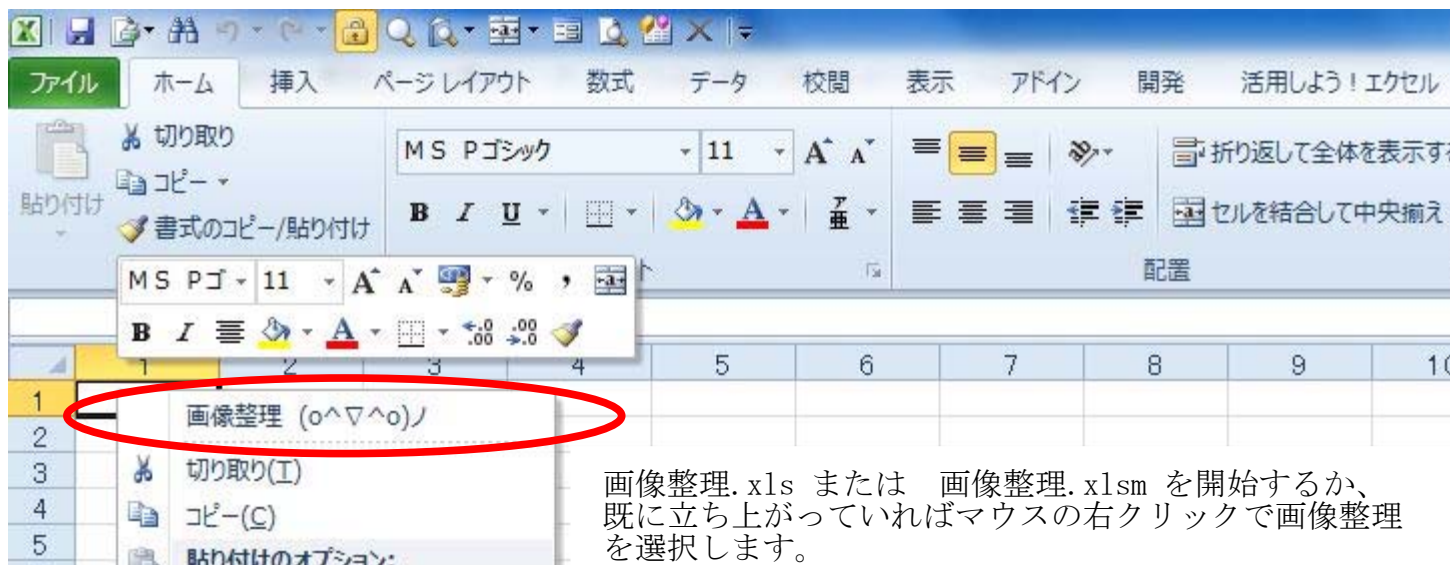


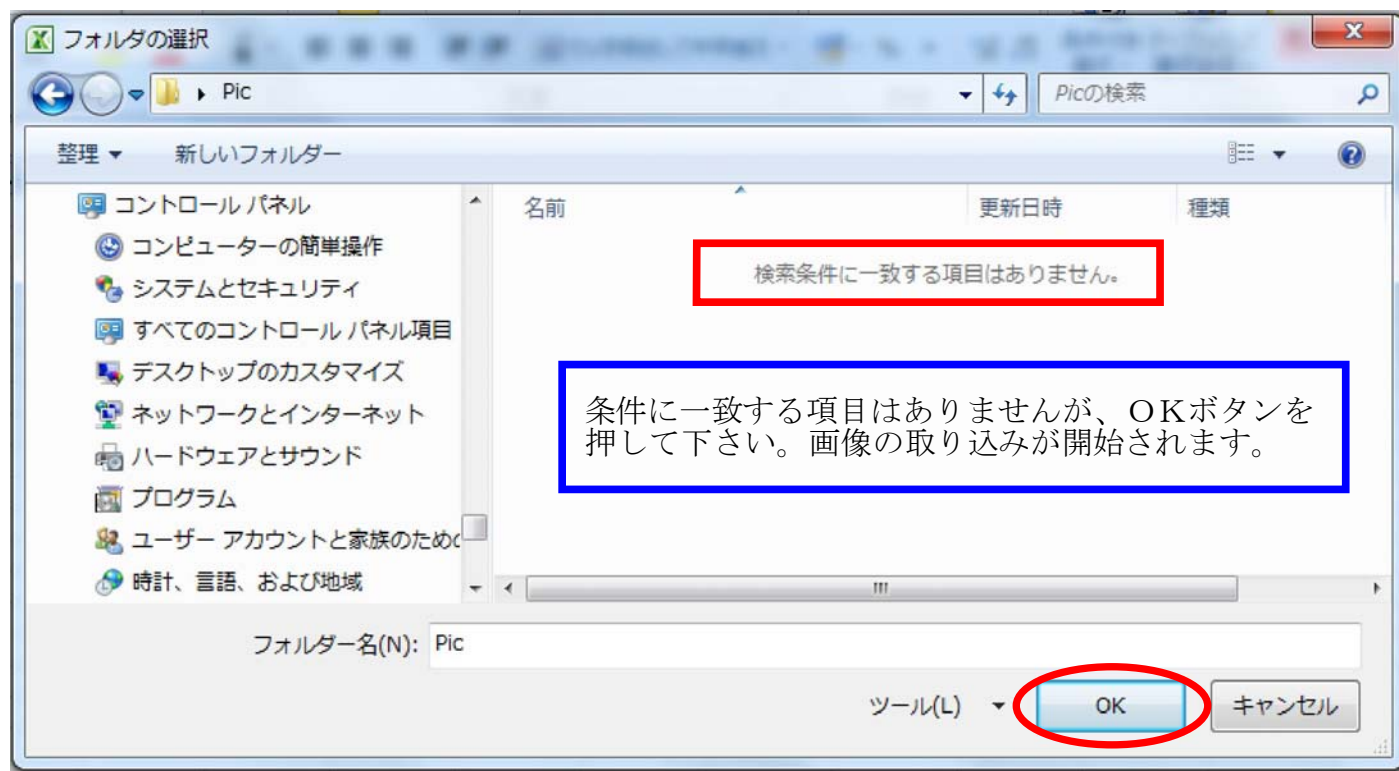
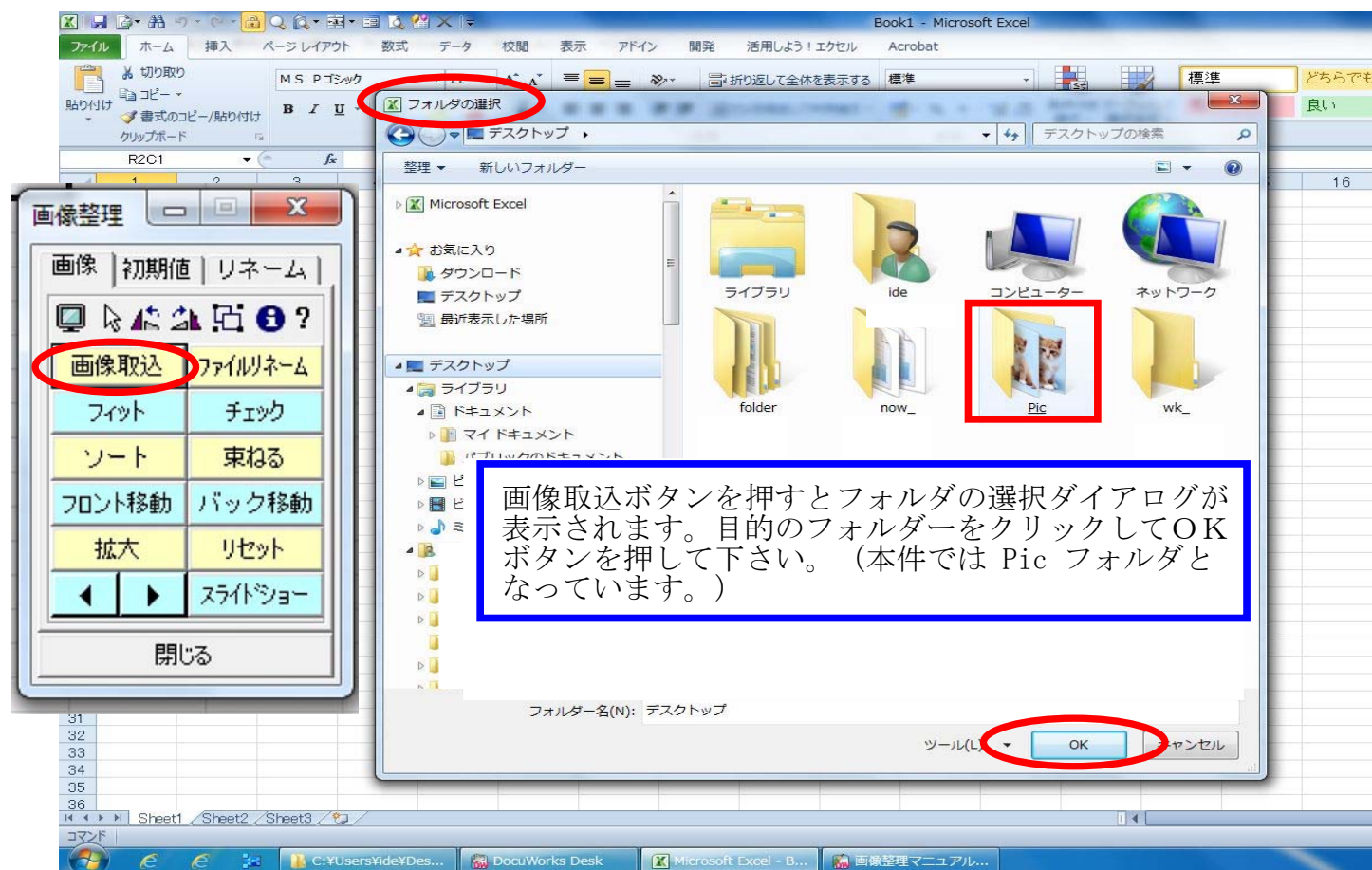
1 - 1 画像整理の開始方法



(注意)

このマクロは、ファイル名(画像名)を書き換えることができます。従って、本番に入る前にデスクトップ画面上にでも任意のフォルダーを設け、その中に画像ファイルをコピーしてからテストを行い、どのように画像名が変わるのかを理解してからご使用下さい。

1 - 2 画像を取り込むには？



次のファイル拡張子のものを画像として取扱います。
 jpg, gif, tif, png, bmp, jpeg, tiff, ico (エクセル2003では ico は取り込めません。)

1 - 3 イメージボタンの説明



全画面切替 → 全画面の表示切替を行います。



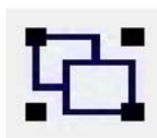
オブジェクトの選択 → 画像等のオブジェクトをマウスで選択するモードに入ります。



左90°回転 → 選択図形の左90°回転を行います。



右90°回転 → 選択図形の右90°回転を行います。



全図形選択 → 全図形を選択します。



インフォメーション → バージョン情報、参照フォルダ、図形の個数、選択図形名を表示します。



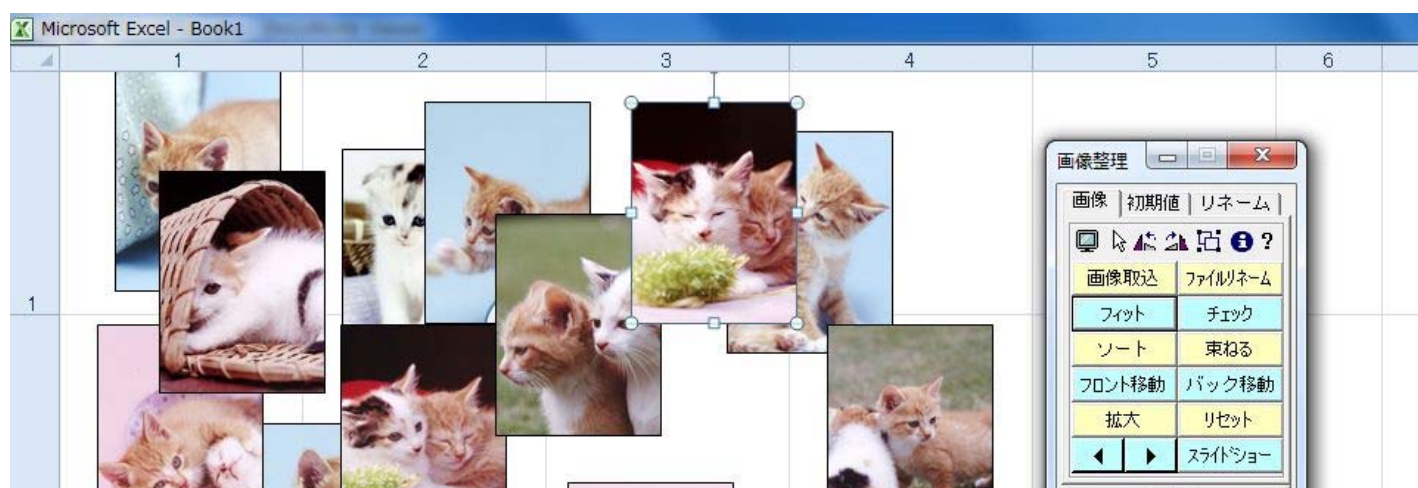
ヘルプ → ヘルプ情報を表示します。

1 - 4 画像整理の操作説明



画像取込が完了したところ

マウスで画像を移動させます。



画像整理では、ワークシート上にある画像の配置順序に従ってそれと対応するフォルダー内の画像名を変更することを目的としています。（見たい順序に従って、画像名を書き換えるということです。）

まずは、見たい順序に従って画像をマウスで移動します。次に、ソートボタンを押すと画像がソートされます。現場ではこの操作が繰り返されます。

画像ソートの優先順位は次の様になっております。

上方セル内に位置する画像、次に、左方セル内に位置する画像。

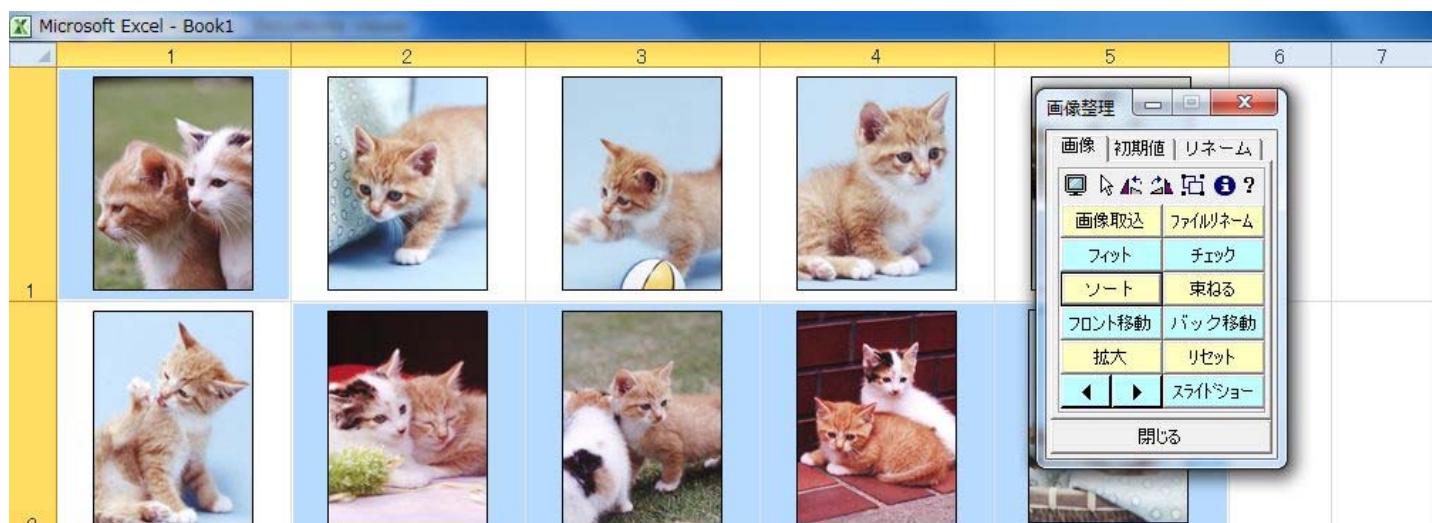
セル内に位置するとは？→画像の左上の座標がそのセル内にあるということです。

同一セルに複数の画像があった時は？→そのセル内に位置する画像で上にある画像ほど優先順位が高くなります。

1 - 5 画像整理の応用

画像を同時に複数選択するには3つの方法があります。

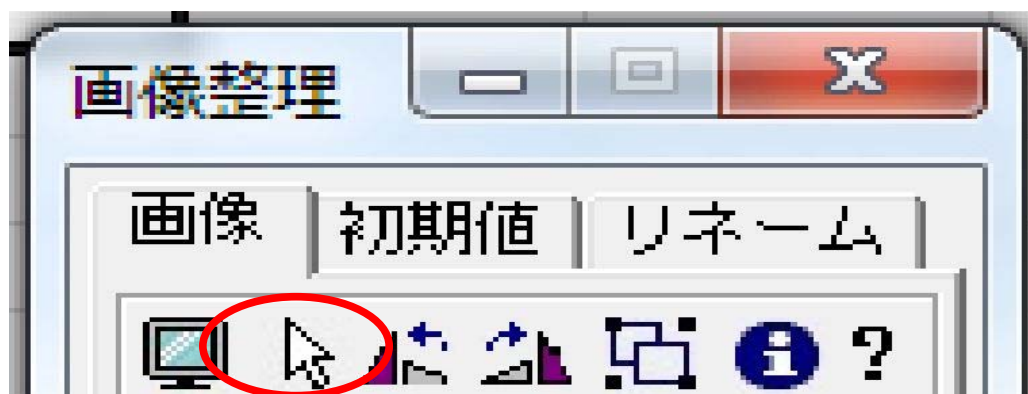
- (1) Ctrlキーを押しながらセルを複数選択する。(画像ではなくセルを選択します。)
下の水色に反転したセルが選択された部分です。その後、束ねるボタンを押すと
画像が一カ所に束ねられます。



- (2) Shiftキーを押しながら1個1個画像を選択する方法
選択完了後、束ねるボタンを押すと(1)と同じ効果が得られます。



- (3) オブジェクトの選択を使う方法
選択完了後、束ねるボタンを押すと(1)と同じ効果が得られます。



選択した画像は「切り取り」、「貼り付け」で任意の位置に移動できます。移動距離が長い時は「切り取り」、「貼り付け」は便利です。

例として、2匹のネコが移っている画像だけをワークシートの上方に移動させたいとします。画像がたくさんある場合、マウスだけで移動させると大変な作業になります。ここで、画像を選択し束ねるボタンで画像を束ねて「切り取り」、「貼り付け」操作を行うと作業が楽になります。また、画像数が多かったり重かったりするとパフォーマンスが低下しますので、任意の空いた列（前の図では6列目以降）に画像を移動させ最後にその列全体を選択して束ねるボタンを使うと操作が楽になります。

また裏技としては、画像を切り取ったままにしておき、最後にチェックボタンを押す方法もあります。ワークシート上の画像が読み込んだフォルダ（参照フォルダ）と関連がとれていれば、チェックボタンで欠落画像（切り取ったままで貼り付いていない画像）をチェックしワークシートの上方に貼り付けます。

1-6 画像整理（コマンドボタンの説明）

画像取込；フォルダー指定により画像を取り込みます。

フィット；選択画像をセルにフィットさせます。

ソート；画像ソートを行います。

フロント移動；画像をフロントに移動します。

拡大；新規ブックを作成し、選択画像をその上で拡大表示します。

スピンボタン；同じワークシート内で選択画像を拡大、縮小します。

ファイルリネーム；チェック完了後、参照フォルダ内の画像名をリネームします。

チェック；重複画像名、未定義画像名、欠落画像名の検査を行います。

束ねる；画像を束ねます。

バック移動；画像をバックに移動します。

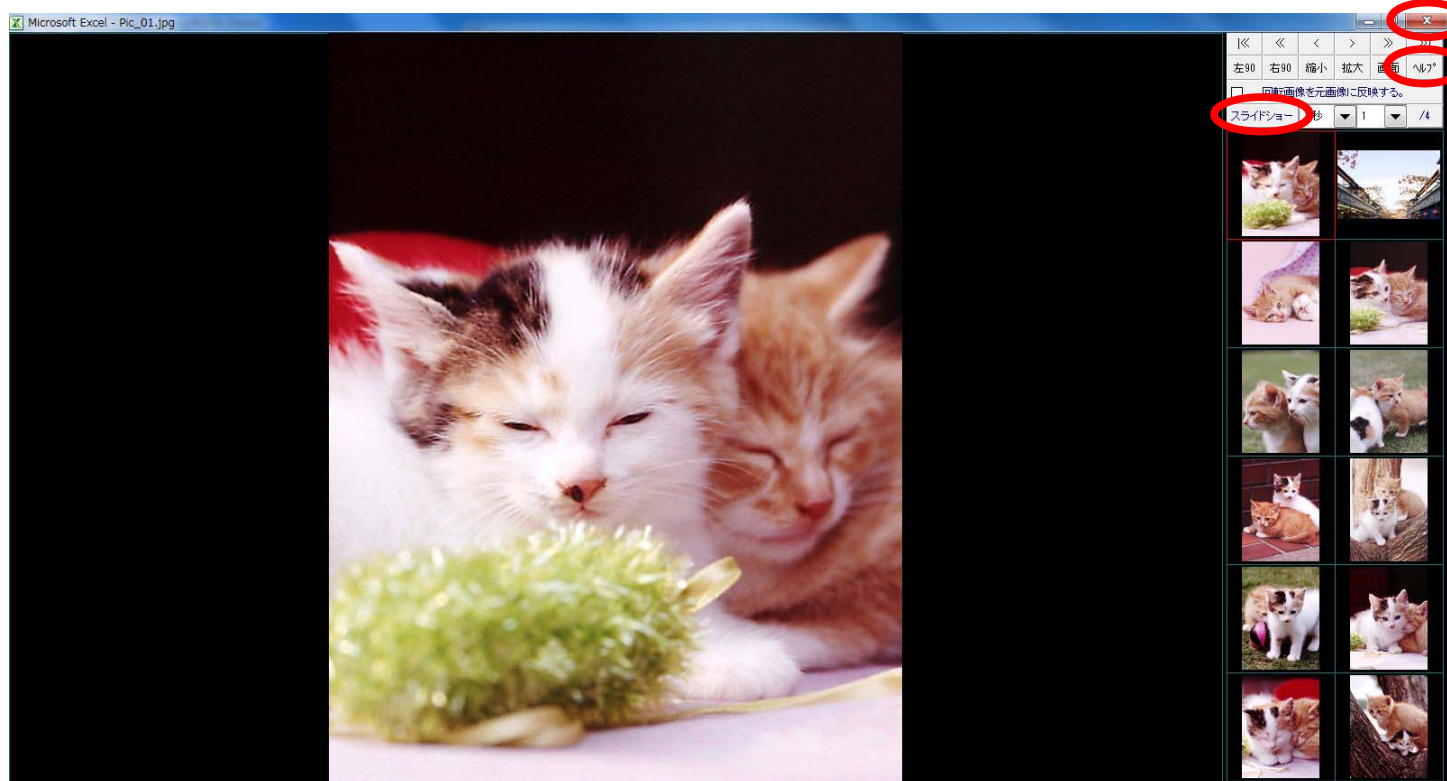
スライドショー；新規ブックを作成し、スライドショーを実施します。



1-7 スライドショー

各コマンドボタンについては、同画面のヘルプを参照して下さい。

注意；スライドショーボタンを押すときのボタンの文字が赤色で表示されます。
途中で中止する時もこのスライドショーボタンを押して下さい。
また、スライドショー画面は、画面右上の×ボタンで閉じて下さい。



2-1 初期値操作

初期値では、画像操作に関する初期値の設定を行います。



セルサイズ；セルのサイズを指定します。

画像列数；左右方向に貼り付ける画像数を指定します。

マージン；セル内画像のマージンを指定します。

行の挿入；上と下の画像間に空白行を挿入します。

行の高さ；挿入行の高さを指定します。

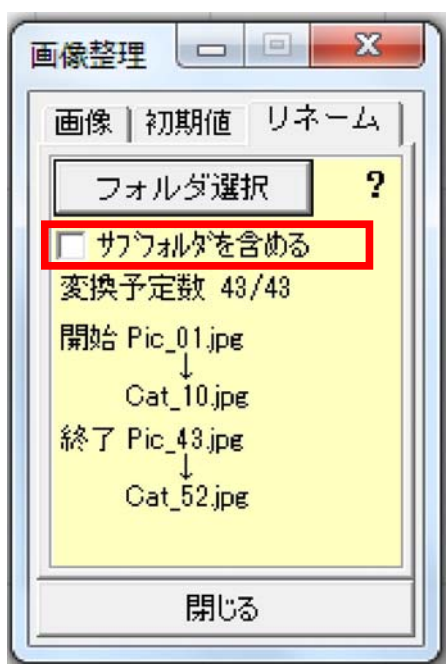
実行；初期値に従ってワークシートを再設定します。

リセット；初期値をリセットします。

初期値保存；初期値を保存します。

3-1 リネーム

リネームでは、フォルダー単位で画像名を変更します。



フォルダ選択

フォルダの選択ダイアログが表示されます。
リネームしたいフォルダを選択して下さい。

サブフォルダを含める時

指定したフォルダ及びそれ以下のサブフォルダ内の画像
ファイル名が次の規則により変換されます。
フォルダ名_連番.jpg

サブフォルダを含めない時

まずダイアログが表示されますので処理したいフォルダ
を指定して下さい。次にヘッダーを聞いてきますので、
好きなヘッダー名を入力して下さい。最後に開始連番号
を聞いてきますので、任意の番号を入力して下さい。
ヘッダー&開始連番. 拡張子 の規則に従ってファイル名
が変換されます。
対象は1個のフォルダのみですが、サブフォルダを含め
る時よりも柔軟なリネーム処理が行えます。

上図の説明をします。

変換予定数；画像名を変えるファイルが43個あります。

開始；最初のファイル Pic_01.jpg → Cat_10.jpg にリネームしました。

終了；最後のファイル Pic_43.jpg → Cat_52.jpg にリネームしました。 という意味です。

画像整理について

当ブックは、#info、 #work、 Sheet1 の3つのワークシートで構成されています。

この内、#info、 #work シートは強制非表示となっており残りの Sheet1 だけが表示状態となっています。しかし、この Sheet1 はウインドウ操作で隠しています。Sheet1 が見えないからといって当ブックはアドインではありません。通常のマクロ付きブックです。アドインもどきのブックと考えていいかと思います。

このマクロブックを使って保存したブックを単独で立ち上げても、画像整理ブックは立ち上がりません。従って、当マクロを使う時は、毎回、当ブックを立ち上げて下さい。

また、 画像整理.xls と 画像整理.xlsm についてコードは全く同じです。シートの行列数が違うだけです。両ファイルともエクセル2003、2010で動くと思います。ただし環境が違う場合は互換性モードにする必要があります。

なお、セキュリティレベルは使用者にて設定下さい。

その他

著作権は放棄しません。

このソフトは無料です。

いかなるトラブルが発生しても作者は責任を負いません。

最後に、このソフトを作成するにあたり多くの方にご指導をいただきました。この場を借りて厚く御礼を申し上げます。m(u_u)m